

令和4年度

事業計画書

公益財団法人 大津市公園緑地協会

## 目 次

I	事業運営方針	1
II	重点事項	2
III	事業計画内容	
1	公益目的事業	
(1)	都市緑化に係る啓発及び普及に関する事業	5
①	緑のイベント事業	5
②	緑の普及啓発活動	5
③	緑の活動支援事業	7
④	緑の体験活動等事業	8
⑤	共通事業	8
⑥	調査研究事業	9
(2)	都市公園等に係る調査、研究及び管理運営、利用促進に関する事業	10
1)	大津市都市公園・都市公園プール・におの浜ふれあいスポーツセンター指定管理者事業	10
①	都市公園運営事業	10
②	運動施設運営事業	12
③	一里山公園緑のふれあいセンター運営事業	14
④	都市公園プール・におの浜ふれあいスポーツセンター運営事業	15
2)	滋賀県営都市公園指定管理者事業	16
3)	大石緑地スポーツ村（一部を除く）指定管理者事業	17
2	収益事業	
(1)	駐車場事業	18
(2)	自動販売機運営事業	18
(3)	飲食・物販事業	19
(4)	公園運営事業	19
(5)	運動施設運営事業	19
VI	令和4年度正味財産予算書	20

## I 事業運営方針

公益財団法人大津市公園緑地協会は、昨年度に公益法人化して10周年を迎えた。

この間、当協会は、大津市における都市緑化の推進、公園緑地及びスポーツ施設の円滑な運営並びに利用の増進に関する各種事業を実施することで、快適で安全な緑溢れる住みよい環境の創造及び市民福祉の向上に寄与し、地域社会の健全な発展に寄与してきたところである。

しかし近年、事業を取り巻く環境は大きく変化しており、国の公園緑地政策において緑とオープンスペースの多機能性を都市のため、地域のため、市民のために最大限引き出すことを重視するステージに移行すべきとして都市公園法等が改正されたことにより、官民連携のより一層の加速や、都市公園のポテンシャルをより柔軟な発想で引き出す新たな取り組みが進められてきている。

一方で、令和2年度に発生した新型コロナウイルス感染症の拡大は未だ収束の兆しが見えず、感染拡大防止のためのまん延防止等重点措置や緊急事態宣言などの発令は、各種イベントの開催や施設利用の一部に制限を加え、また、人々に外出自粛といった行動変容を促すことにより社会経済活動に長期的で深刻な影響を及ぼしている。

当協会は今年度、特にこうした社会情勢を慎重に見極めつつ柔軟な事業運営に努めていく。

まず、当協会運営の根幹をなす指定管理事業については、新たに令和4年度からの5年間、「大津市都市公園（226公園）、都市公園プール（6施設）、におの浜ふれあいスポーツセンター」がスタートする。

特にここでは、一部都市公園において Park-PFI 等の官民連携による事業が予定されていることから、関係機関等と必要な情報共有と調整を図りながら円滑な導入推進に努める。

さらに、引き続き実施する「滋賀県営都市公園（湖岸緑地の天津地域ほか2公園）」及び「大石緑地スポーツ村（一部除く。）」とともに、共同事業体の代表団体として積極的に地方自治体との調整を図りながら、各構成企業が持つ知識と経験の可視化・共有化及び横連携の強化により適正で円滑な管理運営に努める。

また、市民やボランティアの支援、地元企業やNPO法人、地域関係団体との協働・連携を強化することにより、緑の保全や環境活動、地域スポーツの振興、市民の健康増進、青少年の健全育成など公益に資する事業や自主事業についても、引き続き積極的に推進していく。

さらに、こうした事業活動を支える経営基盤においては、財務面では新型コロナウイルスや令和4年4月からの施設利用料金の値上げによる収入への影響や新たな指定管理事業の仕様内容の支出への影響を慎重に見極めつつ事業執行していく。

人事面ではこれまで進めてきた人員削減や組織体制の見直しについて改めて検証を行うと同時に、長期的な視点での職員の採用計画や人材育成方針について検討していく。

## II 重点事項

### 1 公益目的事業の推進

当協会の中核となる事業で、緑豊かで快適な都市環境を創出するために、「花と緑のまちづくり」をテーマにおおつ花フェスタ等の「緑のイベント事業」、花と緑の7デイズスクールや自然観察会等の「緑の普及啓発活動」、ボランティア等への支援として「緑の活動支援事業」、緑の少年団等の「緑の体験活動等事業」、そして、地域団体、高校生との協働による公共施設植栽事業や清掃活動等により、地域貢献と公園への愛着醸成を図り、緑化意識の高揚に努める。

また、情報発信事業として、当協会季刊誌「湖都大津みどり」の発刊、インスタグラムやフェイスブック等のSNSの活用、ホームページでの花の開花状況のネット配信や各種イベントの告知など公園の魅力を随時発信するとともに、身近な公園の位置情報として新たに「公園マップ」として提供する。

運動施設運営事業では、新型コロナの感染防止対策を徹底し、市民が運動やスポーツに親しむきっかけになるようなスポーツイベントや健康寿命を延伸するプログラムの実施、子どもたちがスポーツに興味を抱く教室を開催し、元気な大津っ子の育成等のサービスを提供し、あらゆる世代に「する」「観る」「支える」といったスポーツへの関心を高め、スポーツ施設としての機能と役割を果たしながら利用者満足度を高めていくとともに、各スポーツ教室における利用者アンケートを基に「健康増進検証委員会」で、それぞれの取り組みを評価・検証し、今後の事業改善に繋げる。

### 2 指定管理者事業の推進

指定管理者事業を共同事業体で行うことにより、事業を円滑かつ良好に遂行するために、それぞれの構成団体との相互協力と連携が重要となることから、代表団体としてのマネジメント機能を十分に果たしていく。

#### 共同事業体の構成

指定管理者事業名	共同事業体名	構成団体
大津市都市公園（226公園） 都市公園プール（6施設） におの浜ふれあいスポーツ センター （令和4年4月1日 ～令和9年3月31日）	おおつ協会都市公園グループ	公益財団法人大津市公園緑地協会
		西武造園株式会社
		ゼット株式会社
		株式会社オージースポーツ
		株式会社 linkworks

滋賀県営都市公園（湖岸緑地の 大津地域ほか2公園） （令和元年4月1日 ～令和6年3月31日）	公益財団法人大津市公園緑地協 会、一般社団法人滋賀県造園協会 西地区共同体	公益財団法人大津市公園緑地協会
		一般社団法人滋賀県造園協会西地区
大石緑地スポーツ村 （一部を除く。） （令和2年4月1日 ～令和5年3月31日）	おおつ協会都市公園グループ	公益財団法人大津市公園緑地協会
		西武造園株式会社
		ゼット株式会社

※大津市都市公園は220公園から226公園(6公園増加)

### 3 公園管理の充実

大津市第4次緑の基本計画に基づき、緑の活用と保全に向けた取り組みや、パークマネジメント強化により、魅力的な都市公園の実現に向けて、積極的な維持管理運営を行う。

指定管理申請時に提案した、大津市総合計画の第2期実行計画で位置づけられている5つのリーディングプロジェクトに沿って、公園の管理運営に取り組む。

1. 子育て（地域と連携し、安心して子育てできる公園づくり 等）
2. 学び（公園の特徴を生かした教室や、歴史・文化に関する教室などの開催 等）
3. 健康づくり（公園を通した健康増進を図るための事業の展開 等）
4. にぎわい創出（大津市ならではの公園資源を活かした魅力発信 等）
5. 安全安心（公園施設を安全安心に管理することによる地域コミュニティの活性化 等）

全国的なコロナ禍の影響により、都市公園の在り方が見直されていることから、利用者の行動変容を的確に捉え、今以上に公園に愛着をもっていただき、快適に利用してもらえるような環境づくりを整えていく。

公園での様々な魅力ある事業の展開や、近隣住民の憩いの場としての利用を促進するため、遊具や施設の定期点検をはじめ、見通しの良い植栽管理等、安全・安心を念頭においた維持管理を実践する。

### 4 環境活動の推進

多くのボランティアが活動する場を提供するとともに、協働で、花壇の植栽、ハンギングバスケットによる装飾やグリーンカーテンの設置などを公共施設で行う。

そして、里山や琵琶湖の水辺環境を教材として、環境教育体験プログラムを実施する。

里山環境分野では自然観察会やビオトープでの体験活動、水辺環境分野では琵琶湖での水上

SUP等を通じて環境教育を推進していく。

また、都市公園等の管理運営を通じて、SDGs（持続可能な開発目標）として「安心・安全」「健康・福祉」「子育て・教育」「交流・協働」「環境」の5項目に取り組む。

## 5 関係団体等との連携強化

公益目的事業を効果的に実施するため、地元企業やNPO法人、まちづくり協議会などの地域関係団体と協働、連携しながら様々な取り組みを行っており、令和3年度には新たに1企業を協力団体として追加したところである。

今後こうした取り組みをより一層推進するため、新たな団体等との連携も積極的に検討していく。

## 6 都市公園の新たな取組

現在、大津市においては、都市公園（運動施設の一部を含む）の新たな管理手法を調査研究しており、大津湖岸なぎさ公園周辺の賑わい創出のための「市民プラザ」等でのPark-PFI事業や「大津駅前公園」のPPP（官民連携）事業による設置管理許可制度の導入及び皇子山総合運動公園野球場のネーミングライツ（命名権）パートナーの決定が予定されていることから、現管理施設の管理区域や管理手法の変更など指定管理者への影響を十分に調査するとともに、関係機関からの情報収集及び協議に臨む。

## 7 経営基盤の強化

前指定管理期間（令和元年度から3年度）においては、共同企業体による新たな枠組みでスタートしたことによる指定管理料の配分調整不足に伴う初年度の大幅な赤字、令和2年度、3年度の新型コロナによる利用料金や駐車場収入の予想以上の大きな減収など、収入不足が協会経営に大きく影響したことを踏まえて、令和4年度からの新たな指定管理にあっては、各構成企業が3年間の反省点や課題を出し合いながら指定管理料の配分協議や業務の見直しを行うとともに新型コロナ感染拡大による減収分については、大津市に対して補填の要望を継続していく。

また、これまでの経営改善の取り組みや人員削減等による組織体制の見直しについても改めて検証と評価を行い、さらなる事務事業執行の効率化に努め、人事・財務両面での経営基盤強化を図る。

### Ⅲ 事業計画内容

#### 1 公益目的事業

##### (1) 都市緑化に係る啓発及び普及に関する事業

当協会が推進する「花と緑のまちづくり」をテーマに掲げ、都市緑化に係る啓発イベントや市民協働による緑化活動を推進し、市民の緑化意識の浸透を図り、快適で安全な緑溢れる住みよい環境を創造する。

##### ① 緑のイベント事業 【予算額:5,000 千円】

###### ア おおつ花フェスタの開催

市民・事業者・行政のパートナーシップによる花と緑のまちづくりを推進すると共に、花と緑のイベントを通して市民交流を深め、地域の活性化を促すことを目的として市内4カ所で開催する。

- (開催場所)
- ・ 大津湖岸なぎさ公園 (4月、10月)
  - ・ 和邇公園 (11月)
  - ・ 一里山公園緑のふれあいセンター (4月、10月)
  - ・ 伊香立公園 (11月)

###### イ なぎさ公園シバザクラまつり

大津湖岸なぎさ公園プロムナードに植栽しているシバザクラの開花時期に、市民及び観光される方に美しいフォトジェニックな空間を楽しんでもらうとともに、公園の魅力を発信することを目的としてイベントを開催する。

- (開催場所) ・ 大津湖岸なぎさ公園プロムナード (5月)

##### ② 緑の普及啓発活動 【予算額:4,500 千円】

###### ア おおつ花を活かしたまちづくり事業

大津市推奨事業のひとつであり、それぞれの公園の特色を活かした花を市民との協働により植栽し、華のある色彩豊かな公園づくり及び市民への緑化意識の啓発に力を入れる。

- (実施計画)
- ・ 新規 市内公園 (3公園)
  - ・ 継続 市内公園 (4団体 5公園)

###### イ 花と緑の7デイズスクール

花と緑の正しい知識を身につけるための講座を7日間コースで開催する。また、修了生が地域の緑化リーダーとして活躍することで緑化推進を図る。

- ・ 全7回講座 (一里山公園緑のふれあいセンター)

ウ おおつ自然観察会

自然に親しみ、人と自然の関わりについて理解を深めるための観察会を開催し、自然保護意識の浸透を図る。

(開催場所) ・皇子が丘公園 等

エ 公共施設植栽事業

公共施設等に設置している花壇やフラワーポットに、季節に応じた花苗を植栽し、花と緑溢れるまちづくりを推進する。

また、大津の玄関口でもある J R 大津駅前広場において、花壇及び花と緑の壁面アート（ハンギングバスケット）を、旅の人をお迎えする「おもてなし花壇」として設置する。

(植栽施設) ・大津市役所庁舎前・皇子山総合運動公園・皇子が丘公園  
・ J R 大津駅前・大津湖岸なぎさ公園（サンシャインビーチ）

オ 花と緑のまちづくりコンクール【絵画・標語】

公園、花、緑を題材にした絵画・標語を募集し、花とみどり溢れる快適なまちにすることを目的に、緑化推進及び普及啓発を図る。

・ 9 月審査会

カ 花のまちなみ花壇コンクール

まちなみを彩る花壇を管理している団体に対し、花壇の美しさを評価するコンクールを実施し、花壇づくりを通じて市民の緑化意識の高揚、地域コミュニティの増進を図る。

・ 6 月審査会

キ 公園フォトコンテスト

大津市内の公園風景などを対象に、現代に応じたスマートフォンやタブレットで簡易に参加できるインスタグラムフォトコンテストを実施し、四季折々のフォトジェニックな公園の魅力の発信を図る。

・ 2 月審査会

ク グリーンカーテン事業

ゴーヤによる緑のカーテンを大津市役所全支所（36支所）や当協会ボランティアグループの活動施設等に募集を行い、地域における都市緑化の啓発、壁面緑化の推進、ヒートアイランド現象の緩和に寄与する。

ケ 園芸・ガーデニングスキルアップ事業

園芸・ガーデニングに関するスキルアップのための事業を、緑の普及、緑化推進、知識向上を目的に開催する。

・ 園芸講座 等



コ 発芽室の活用事業

発芽室は多種多様な花苗生産が迅速に行うことができ、計画的に活用することによって花苗を公共施設での植栽やイベント等で市民に還元するとともに花苗販売等も行い緑化啓発を図っていく。

サ 他団体主催事業への参加による緑の普及啓発活動事業

他団体主催の事業に積極的に参加し緑化啓発・普及に掛かる活動を行う。

- ・滋賀刑務所矯正展（9月）
- ・大津っ子まつり（5月）

③ 緑の活動支援事業

【予算額:4,500千円】

ア ボランティア支援事業

(ア) ハートフル園芸活動支援事業

ハートフルガーデナー養成講座の修了生が講座で修得した知識や技術を生かし、都市公園や公共施設の場で活動することを支援する。

また、ボランティアとして活躍していただいている方を対象に、技術、知識の向上を目的に研修会等を開催し、ボランティアグループの強化を図る。

- ・5団体（園芸福祉おおつ・かすみ草・四葉のクローバー・ローズクラブ・花遊クラブ）

(イ) すみれ会支援事業

一里山公園緑のふれあいセンターを活動拠点とする「すみれ会」による花苗の育苗及び植栽、除草作業等の活動を支援し、市民協働による管理運営を推進する。

- ・定例活動日（毎月第1・第3水曜日）
- ・自主活動日（毎月第4水曜日）

(ウ) ボランティア「緑化サポーター」発掘事業

市民の方でボランティア活動に意欲のある方なら「いつでも・だれでも」をコンセプトに、ボランティア活動に参加できる機会の提供（ボランティアグループの紹介）、場所の提供を行う。

また、すでに「緑化サポーター」として活躍していただいている方々についても、スキルアップのため研修会等を開催する。

イ 手のひら花苑・花街道事業

市民グループや地域住民が、手のひらのようなかわいい花壇などを街角につくことを支援し、花と緑の都市空間、市街地の色彩空間を創造する。

また、大津市推奨事業のおおつ花を活かしたまちづくり事業もあるため適宜当事業を推奨事業の方へ移行していく。

・手のひら花苑 77団体 ・花街道 7団体

ウ 里山保全活動・ビオトープづくりボランティア支援事業

春日山公園や湖岸緑地において、自然本来の潜在的な機能を取り戻し、環境にやさしい市民の憩いの場となるよう、里山保全活動及びビオトープづくり活動を行う。

現在、春日山公園でNPO法人おおつ環境フォーラムの「ビオトープづくりプロジェクト」、「里山保全プロジェクト」が活動を行っている。

④ 緑の体験活動等事業 【予算額:1,972 千円】

ア 大津緑の少年団事業

次代を担う子どもたちが、野外活動や社会奉仕活動を通して、緑に親しみ、緑を愛し、緑を守り、心豊かな人間に育っていくことを目的とし、小学2年生から6年生を対象に実施する。

- ・緑の募金活動（2回）
- ・野外活動（初夏・夏・秋・冬の4回）

イ みんなで花づくりプロジェクト事業

発芽室を利用した花苗生産や調査研究を、ボランティアと協働で実施することにより、コミュニティづくりを図る。

また、育苗に成功した花苗を都市公園や公共施設に植栽することにより、花と緑溢れるまちづくりを目指す。

ウ 木製クラフト事業

緑溢れる公園で、子供たちが剪定枝や木の実などを使って工作を行うことにより、自然と触れ合う機会を増やし自然愛護の心豊かな人間に育っていくことを目的とする。

（開催場所） ・大津湖岸なぎさ公園、伊香立公園 等

⑤ 共通事業 【予算額:300 千円】

ア 環境活動の推進

（ア）SDGs（持続可能な開発目標）に基づいた事業運営

都市公園の管理運営を通じて、持続可能な社会の実現に貢献するため、「安心・安全」「健康・福祉」「子育て・教育」「交流・協働」「環境」を念頭においた事業運営を行うことにより、市民生活の質の向上に寄与する。

(イ) クリーンウォーク事業

プロバスケットボールチーム「滋賀レイクスターズ」と協力し、清掃とウォーキングを兼ねたクリーンウォーク事業を公園や駅前等で実施する。

イ 情報発信事業

当協会のホームページにて、インスタグラムやフェイスブック等のソーシャルネットワークサービスを活用して、四季折々の公園の魅力や各種イベント・教室等の開催情報、活動結果報告等のリアルタイムな発信や、ビワテクアプリ等のスマートフォンアプリケーションを活用することで、市民の利便性の向上や公園利用の促進を図る。

また、当協会季刊誌「湖都大津みどり」を季節ごとに発刊し、より多くの市民の皆様へ情報提供を図るとともに、ラジオ、新聞、雑誌等、様々な広報媒体を活用し、積極的な情報発信を行う。

新たに身近な公園の位置情報として「公園マップ」を作成し、ホームページから閲覧できるよう、大津の公園の魅力度アップにつなげる。

⑥ 調査研究事業

【予算額: 1,000 千円】

ア ハツミヨザクラ育成調査

ボランティアグループによって、挿木に成功した苗を植栽し現在も育っていることが実証された。

今後、この経験を踏まえ公園等を含む公共施設での植栽場所を調査し、保全・育成に取り組み花で溢れる環境を展開していく。

イ 発芽室設置に伴う調査研究

ボランティアの皆さんと発芽室を利用した花苗生産を行うとともに、珍しい品種等の生産の調査研究を実施する。

また、発芽後の育苗について生産率向上のためにも育苗室の設置を検討し、生産した花苗を公共施設や市民へ還元できるサイクルを構築する。

ウ モニタリング調査

公園及び施設利用者のニーズを把握するため、アンケートを不定期に実施し、利用者サービスの向上を図り、改善等においては迅速な対応を行う。

(2) 都市公園等に係る調査、研究及び管理運営、利用促進に関する事業

指定管理者の指定を受けた各共同事業体の代表団体として公園や運動施設の適切な管理運営を行い、快適な都市環境の形成やスポーツ振興をはじめ、市民に親しまれる憩いの場として、健康づくりやレクリエーション利用の促進に寄与する。

1) 大津市都市公園・都市公園プール・におの浜ふれあいスポーツセンター指定管理者事業

① 都市公園運営事業 【予算額：197,036千円】

公園管理運営については、特に樹木の樹幹内の空洞化が原因による倒木が懸念されることから、樹木医による専門診断をはじめ、簡易樹木検査機で適宜診断を行う。

施設管理については、都市公園内の遊具や便益施設は耐用年数が経過しているものが多く見受けられるため、大津市と協議を行い、修繕及び撤去等の精査を行う。

また、経年劣化に伴う施設の不具合を早期に発見するため、職員による定期点検（1回）と専門業者による詳細点検（1回）、計2回を実施する。

公益目的事業公園の12公園のうち、北中部11公園は、公益財団法人大津市公園緑地協会が行い、一里山公園は、西武造園株式会社の構成会社との共同事業体運営となることから、連携・協力を密に行い、管理運営を実施する。

公益目的事業公園

公園名	付随施設
和邇公園	ゲートボール場・多目的広場・遊具・駐車場
伊香立公園	芝生グラウンド・多目的グラウンド・テニスコート・遊具・駐車場
堅田雄琴湖岸公園	園路広場・遊具
雄琴臨水公園	プール・ゲートボール場・駐車場
皇子が丘公園	日本庭園・体育館・第2体育館・グラウンド・テニスコート・プール・弓道場・野外劇場・遊具・駐車場
尾花川公園	テニスコート

公園名	付随施設
皇子山総合運動公園	国体広場・野球場・陸上競技場・グラウンド・テニスコート・駐車場
長等公園	日本庭園・ゲートボール場・遊具
大津湖岸なぎさ公園	多目的広場・プール・駐車場（7か所）
茶臼山公園	グラウンド・ゲートボール場・遊具・駐車場
膳所城跡公園	園路広場・テニスコート・野外劇場・遊具・駐車場
一里山公園	緑のふれあいセンター多目的室・市民花園・多目的広場・遊具・駐車場

公益目的事業《新規事業》

事業名	実施予定施設等	実施回数等
なぎさ公園 Sunshine × BASE	大津湖岸なぎさ公園	通年
テニス大会 FILA カップ	皇子山総合運動公園	年1回
ニュースポーツ体験会	皇子山総合運動公園等	年1回
公園 de キャンプ	大津湖岸なぎさ公園	年1回
元プロ野球選手のトークショー	皇子山総合運動公園	年1回

公益目的事業《継続事業》

事業名	実施予定施設等	実施回数等
サップ・サップヨガ	大津湖岸なぎさ公園	年22回（計43回）
ウインターイルミネーション	皇子山総合運動公園	冬季
プレイパーク	伊香立公園 等	年12回

事業名	実施予定施設等	実施回数等
ヤーンボンピング	皇子山総合運動公園 等	年1回
子どもサーキット	大津湖岸なぎさ公園 等	年3回
ホタル育成	長等公園	随時
愛犬マナー教室	全域	年3回
遊具みまもり隊	全域	地域や保育園、幼稚園等の要望に対応
地域ボランティア活動の推進	御呂戸川緑地 皇子山総合運動公園 大津湖岸なぎさ公園 長等公園等	年1回（仰木の里学区・北大津高校） 仰木の里学区自治連合会 年1回（大津商業高校） 随時（なぎさ芝桜会・ハートフルガーデナー） 特定非営利活動法人ながらまちづくり協議会
樹木診断点検	全域	適宜
大津湖岸なぎさ公園シバザクラ整備	なぎさ公園	年1回

## ② 運動施設運営事業

【予算額：186,156千円】

運動施設においては、安全かつ快適に利用しやすい施設運営に努めることはもとより、当協会設置の「健康増進検証委員会」の結果を踏まえ、子どもからシニア世代までスポーツをする習慣をつけることを目的とした各種スポーツ教室を開催し“するスポーツ”の機会提供を行い、“みるスポーツ”については、各競技団体と協議し、より高いレベルの試合を誘致し市民に提供する。

そして“ささえるスポーツ”として、運動施設整備ボランティアやスポーツ